



## 大阪府周辺の活断層

今年1月1日時点の評価が公表されました

大阪府周辺には多くの活断層（過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられる地中のずれ）が存在しています。これらの活断層について、毎年1月に政府の地震調査委員会で評価されて、次の地震の発生可能性等が公表されます。今年2022年1月1日時点の評価（下表）も公表されました。表では、今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1~3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記しています。また、地震後経過率（最後に活動してからの経過時間を平均活動間隔で割った値）が0.7以上である活断層については、ランクに「\*」を付記しています。\*がついている活断層は30年以内の地震発生確率が低くとも注意が必要です。いずれの地震発生確率も低く感じるかもしれませんが、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の発生直前において、30年以内の地震発生確率は0.02~8%で、地震後経過率は0.5~1.2でした。また、評価されている断層以外にも見つかっていない断層があるかもしれません。平成12年（2000年）鳥取県西部地震（マグニチュード7.3、最大震度6強）に対応する活断層は知られていませんでした。皆様も評価を見て改めて周りの活断層に注意していただくとともに、いつでも地震が起こる可能性があることは覚えておいて下さい。

※M: マグニチュード

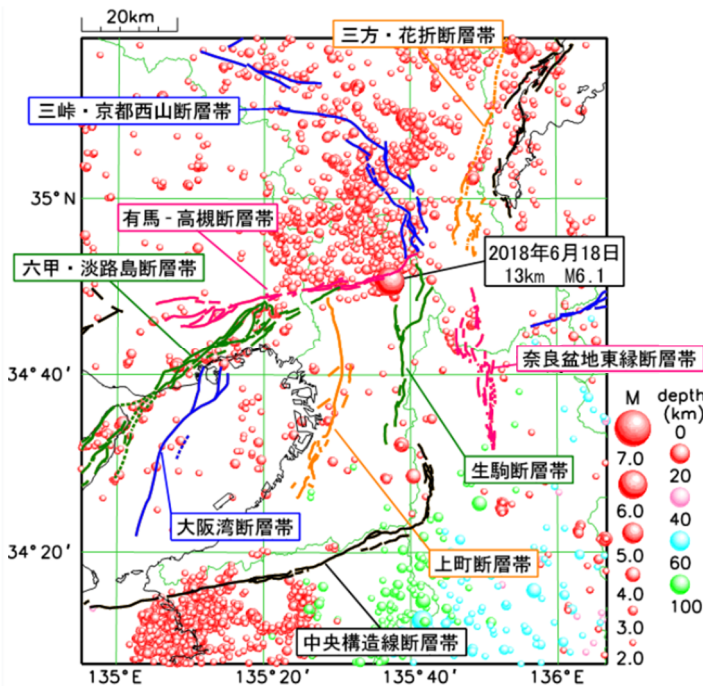


図 大阪府周辺の活断層と震央分布図

丸は2000~2020年に発生したM≥2.0の地震。大阪府周辺の活断層を色分けして名前を表示。

断層帯名 活動区間	予想する M	地震後経過率 /ランク	30年以内の 地震発生確率
三方・花折断層帯	7.3程度	0.2-0.7 /A*	ほぼ0%~0.6%
花折断層帯/中南部			
三峠・京都西山断層帯	7.5程度	0.3-0.7 /A*	ほぼ0%~0.8%
京都西山断層帯			
有馬-高槻断層帯	7.5程度	0.2-0.4/Z	ほぼ0%~0.04%
六甲・淡路島断層帯	7.9程度	0.2-0.6 /A	ほぼ0%~1%
六甲山地南縁-淡路島東岸区間			
奈良盆地東縁断層帯	7.4程度	0.2-2.2/S*	ほぼ0%~5%
生駒断層帯	7.0~7.5程	0.2-0.5/A	ほぼ0%~0.2%
上町断層帯	7.5程度	1.1-2より大 /S*	2%~3%
大阪湾断層帯	7.5程度	0.4以下/Z	0.004%以下
中央構造線断層帯	6.8程度	0.2-0.3 /Z	ほぼ0%
金剛山地東縁区間			
中央構造線断層帯 五条谷区間	7.3程度	不明 /X	不明
中央構造線断層帯 根来区間	7.2程度	0.4-0.6 /A	0.008%~0.3%
中央構造線断層帯 紀淡海峡-鳴門海峡区間	7.5程度	0.4-0.8 /A*	0.005%~1%

表 図中に名前のある活断層の評価

活断層の中には複数の活動区間を持つものもあるが、大阪府に近い活動区間を掲載。

さて、今回で一口メモは200回目を迎えました。地震はいつどこで起こるかわかりません。普段から地震について知っておくことで自分やまわりの人を守る行動ができるようになります。今後も皆様に有用な情報を提供していきたいと思っています。

詳細は...

- 大阪府の地震活動・過去の被害について  
[https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/osaka\\_higai.html](https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/osaka_higai.html)
- 長期評価について（政府 地震調査研究推進本部のページ）  
[https://www.jishin.go.jp/evaluation/long\\_term\\_evaluation/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/)

ぜひ見て下さい!

